

FNからCOMPASSにデータを連動する方法

FNにて、科目別集計データ・部位別集計データをCOMPASSの仕様に則ったTXTファイルを出力します。
COMPASSにて、出力したTXTファイルを、外部入出力機能を使用しデータ連動します。



FNにて
COMPASS標準TXTファイルを出力

メニュー

↓
「外部入出力 (G)」

↓
「COMPASS標準TXT出力 (T)」



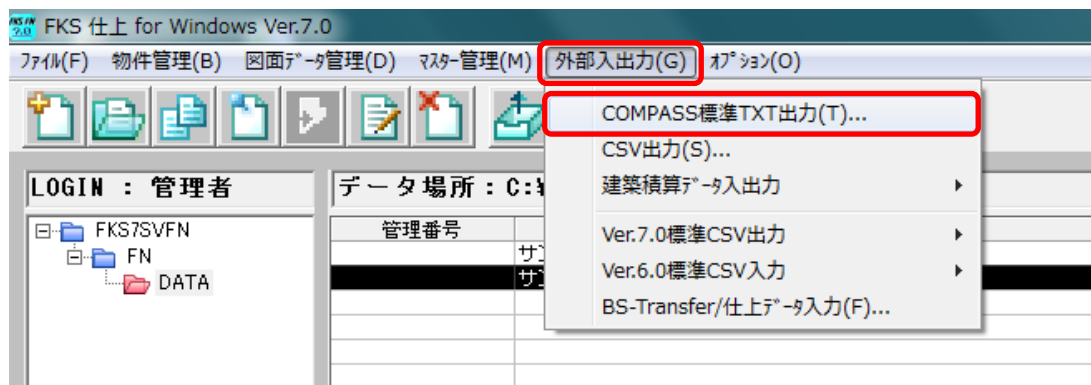
COMPASSにて
COMPASS標準TXTファイルを入力

メニュー

↓
「外部入出力 (G)」

↓
「COMPASS標準TXT入力」

1. FNの物件一覧でデータ連動を行う物件を選択し、メニューの「外部入出力 (G)」→「COMPASS標準TXT出力 (T)」を選択します。



「COMPASS標準TXT出力」画面が表示されます。

COMPASS標準TXT出力

物件ファイル名

出力ファイル

出力設定

データ出力タイプ	出力数量	数量端数丸め方法	出力バージョン
<input checked="" type="radio"/> 科目別集計 <input type="radio"/> 階別科目別集計 <input type="radio"/> 部分別集計 <input type="radio"/> 部位別部屋別集計	<input checked="" type="radio"/> 数量1 <input type="radio"/> 数量2	<input type="radio"/> 切り捨て <input checked="" type="radio"/> 四捨五入 <input type="radio"/> 切り上げ	<input type="radio"/> Ver.2形式 <input type="radio"/> Ver.3～6形式 <input checked="" type="radio"/> Ver.7形式

内外区分変更コマンド名称 出力イメージ

仕上区分変更コマンド名称 出力イメージ

部位、名称欄文字セット

COMPASSの部位、名称欄に仕上システムの場所、部位、名称をどのように出力するか選択して下さい。

COMPASS		
No	部位名称	名称 上段/下段
<input checked="" type="checkbox"/> ①	場所名称	部位名称 + 名称 名称続き
		名称続き(*) 名称続き(*)
<input type="checkbox"/> ②	場所名称	部位名称16文字 名称前半16文字
		名称後半16文字(*)
<input type="checkbox"/> ③	場所名称 + 部位名称	名称前半16文字 名称後半16文字
<input type="checkbox"/> ④	場所名称	名称前半16文字 名称後半16文字
<input type="checkbox"/> ⑤	部位名称	場所名称16文字 名称前半16文字
		名称後半16文字(*)
<input type="checkbox"/> ⑥	部位名称	名称前半16文字 名称後半16文字

場所名称未入力時は編集せずに出力する
(仕上システムの部位、名称を下記のように出力します)

COMPASS		
部位名称	名称	上段/下段
部位名称	名称前半16文字	名称後半16文字

部位、名称の間に空白文字を挿入する

大部位名称を挿入する

規格複数行が空白の場合は上へ詰める

規格複数行をコマンド行にする

※名称が長い時、COMPASSでは次明細の名称欄に続けて出力します。

2. 出力ファイル名、データ出力タイプ、数量、部位・名称文字等の設定をします。

- ①物件ファイル名 物件一覧にて選択をした物件ファイル名が表示されます。
- ②出力ファイル 出力するファイル名を入力します。
出力ファイル名の規定値は「CPSTDW7.TXT」です。
出力フォルダの規定値は「¥FKS7」です。
- ③データ出力タイプ 出力するデータ形式を選択します。
- ・科目別集計、階別科目別集計、部分別集計、．． 概要3で設定した階層でデータを出力します。
 - ・部位別部屋別集計、．． 部位別部屋別に集計したデータを出力します。
※出力先がCOMPASS Ver.7 のみの対応となります。
※この出力をする場合には、仕上表・仕上拾い・条件設定などに
入力制限があります。詳細については、操作マニュアルを参照下さい。
- ④出力数量 出力する数量を選択します。
※部位別部屋別集計のデータ形式の出力は「数量1」となります。
- ⑤数量端数丸め方法 出力する数量の丸め方法を選択します。
- ⑥出力バージョン データ出力をするCOMPASSのバージョンを選択します。
※COMPASSの明細階層データの名称・規格欄の文字数の最大値を設定します。
・Ver.2形式は、上下段合わせ最大全角20文字です。
・Ver.3形式以降は、上下段合わせ最大全角32文字です。
※部位別部屋別集計のデータ形式の出力は「Ver.7形式」となります。
- ⑦内外区分変更コメント名称 COMPASSの明細階層データにおいて、内外区分が変わった時に、自動で発生するコメント行の名称を入力します。
規定値は、「(内部)」「(外部)」です。
※部位別部屋別集計のデータ形式の出力は設定できません。
- ⑧仕上区分変更コメント名称 COMPASSの明細階層データにおいて、仕上区分が変わった時に、自動で発生するコメント行の名称を入力します。
※部位別部屋別集計のデータ形式の出力は設定できません。
- ※内外区分、仕上区分の名称（「内部」「外部」「共用部」等）は、名称追加に入力されている名称をセットします。名称や名称間の空白文字のバランスを変更したい場合は、名称追加の内外名称・区分名称を変更して下さい。
また、内外区分・仕上区分の名称が長い場合は、先頭の5文字を出力します。

⑨集計パターン

部位別部屋別集計のデータ形式の出力時、集計パターンを選択します。集計パターンは1 2パターンあります。選択したパターンを仕上区分別に出力したい場合は「仕上区分別」をチェックします。

⑩部位、名称欄文字セット

FNの場所・部位・名称を、COMPASSの部位・名称欄への出力パターンを選択します。
※部位別部屋別集計のデータ形式の出力は固定のパターンとなります。

※科目別集計、階別科目別集計のデータ形式の場合

No.	部位名称	名称 上段/下段
<input checked="" type="checkbox"/> ①	場所名称	部位名称 + 名称 名称続き 名称続き(※) 名称続き(※)
<input type="checkbox"/> ②	場所名称	部位名称16文字 名称前半16文字 名称後半16文字(※)
<input type="checkbox"/> ③	場所名称 + 部位名称	名称前半16文字 名称後半16文字
<input type="checkbox"/> ④	場所名称	名称前半16文字 名称後半16文字
<input type="checkbox"/> ⑤	部位名称	場所名称16文字 名称前半16文字 名称後半16文字(※)
<input type="checkbox"/> ⑥	部位名称	名称前半16文字 名称後半16文字

- 場所名称未入力明細の出力について
場所名称が未入力の明細のみFNで入力した部位・名称をCOMPASSの部位・名称にセットしたい場合は「場所名称未入力時は編集せずに出力する」にチェックをします。チェックをしない場合は、「部位、名称欄文字セット」で選択したタイプで出力します。
- 部位、名称の間の空白文字挿入について
「部位、名称欄文字セット」で①を選択し、部位と名称の間に空白文字を挿入したい場合、「部位、名称の間に空白文字を挿入する」をチェックします。
「部位、名称欄文字セット」で③を選択し、場所と部位の間に空白文字を挿入したい場合、「場所、部位の間に空白文字を挿入する」をチェックします。
「部位、名称欄文字セット」で②④⑤⑥を選択した場合は、チェック不要です。
- 大部位名称の挿入について
大部位名称を挿入したい場合、「大部位名称を挿入する」をチェックします。
挿入される名称は、計算条件設定の大部位・小部位設定で指定している情報が設定されます。

※部分別集計のデータ形式の場合

10

部位、名称欄文字セット

COMPASSの部位名称欄に仕上り済みの場所、部位をどのように出力するか選択して下さい。

No	部位名称	名称	上段/下段
<input checked="" type="checkbox"/> ①	場所名称 + 部位名称	名称前半16文字 名称後半16文字	
	場所名称 + 部位名称	名称前半16文字 名称後半16文字	
<input type="checkbox"/> ②	部位名称	名称前半16文字 名称後半16文字	
	部位名称	名称前半16文字 名称後半16文字	
<input type="checkbox"/> ③	場所名称 + 部位名称	名称前半16文字 名称後半16文字	
	部位名称	名称前半16文字 名称後半16文字	

場所、部位の間に空白文字を挿入する

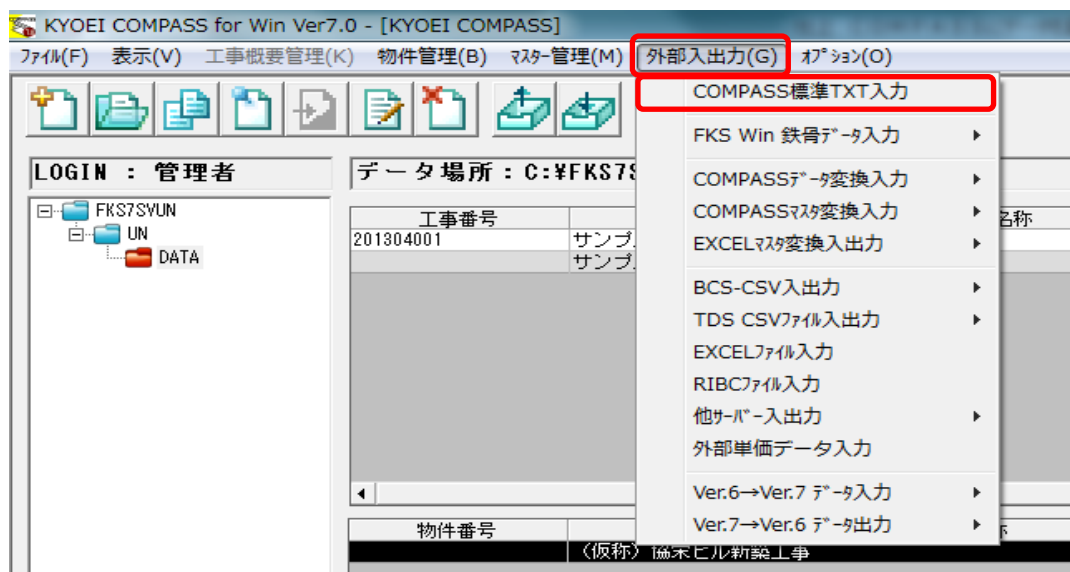
規格複数行を1行にする

③は同一仕上りの先頭行のみ場所名称、部位名称を出力します

- 場所、部位の間の空白文字挿入について
「部位、名称欄文字セット」で①③を選択し、場所と部位の間に空白文字を挿入したい場合、「場所、部位の間に空白文字を挿入する」をチェックします。
「部位、名称欄文字セット」で②を選択した場合は、チェック不要です。

3. 設定を終了後、「OK」をクリックするとTXTファイルを出力します。
4. 出力されたTXTファイルをCOMPASSの外部入出力機能を使用して取込みをして下さい。

※COMPASSの物件一覧でデータ連動を行う物件を選択し、メニューの「外部入出力 (G)」 - 「COMPASS標準TXT入力」を選択します。
詳細については、COMPASSの操作マニュアルを参照下さい。



以上で終了です。
上記手順にて解決できない場合には、弊社窓口までお問合せ下さい。